

1. 科目名 (単位数)	国際社会理解研究Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	EIIE4102
2. 授業担当教員	野口 生也			
4. 授業形態	講義、議論、発表	5. 開講学期	春期、秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	国際教育コース4年次必修科目			
7. 講義概要	4年次前期に提供された「国際社会理解研究Ⅰ」では、グローバル化が進む中、教育の在り方について模索しました。本授業では、「国際社会をよりよく理解するための教育の在り方」について更に追及し、各自、将来の進路や希望に合わせて、国際社会理解と教育に関するテーマを決定し、プロジェクトとして探求します。プロジェクトの例としては、社会調査法を使った研究調査、教材開発、国際理解をテーマとした授業計画の作成、などが考えられます。どのようなテーマを選ぶにしろ、プロジェクトを行うことにより、国際社会と教育について、自発的に問題を見出し、探求能力を高め、解決策を提案し、実行する力を育むことを目的とします。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会について理解を深めるため、教育の役割についてテーマを選ぶ。 2. プロジェクトとおして、国際社会問題について、発見、探求、提案ができる。 3. 教育者として今回選んだプロジェクトの意義について、他者に説明できる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習課題の事前学習と事後学習を行うこと。 2. 授業内課題は授業の終わりに提出すること。 3. 発表のpptファイルを第10回授業日までに提出すること (発表とともに評定方法「3 プロジェクト」として評価)。 4. 発表後に修正した内容をレポート形式にしたwordファイルを第13回授業日までに提出すること (評定方法「2 提出課題」として評価)。 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】なし</p> <p>【参考書】ウェイン・C・ブースその他著『リサーチの技法』ソシム、2018。 ※The Craft of Research (Chicago Guides to Writing, Editing, and Publishing, 4th ed.)の翻訳版</p> <p>【教材】随時、資料を配布する。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>以下の点が達成されたかを基準とし、評価される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会について理解を深めるため、教育の役割についてテーマを選ぶことができるようになったか。 2. プロジェクトとおして、国際社会問題について、発見、分析、提案ができるようになったか。 3. 教育者として今回選んだプロジェクトの意義について、他者に説明できるか。 <p>○評定方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への参加意欲・態度 総合点の20% 2 提出課題 総合点の50% 3 プロジェクト 総合点の30% <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	分からないことや共有したいことがあれば、積極的に発言しましょう。ペアやグループでの活動では、お互いを尊重し、協力しましょう。			
13. オフィスアワー	授業内で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 社会調査法を使ったプロジェクトについて	事前学習	シラバスでコース内容を把握する。事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。	
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。	
第2回	調査と読者	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。	
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。	
第3回	問いと課題	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。	
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。	
第4回	資料の活用	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。	
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。	
第5回	議論と主張	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。	
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。	

第6回	理由、エビデンス、論拠	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。
第7回	執筆の計画と構成	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。
第8回	出典と図表	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。
第9回	序論と結論	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。
第10回	推敲と調査倫理 ※発表 ppt ファイル提出	事前学習	事前配布資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらを各自のプロジェクトに反映させる。
第11回	発表と質疑応答（1）	事前学習	発表のリハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点や質疑応答の内容を整理し、レポートに反映させる。
第12回	発表と質疑応答（2） 総合ディスカッション	事前学習	発表のリハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点、質疑応答、ディスカッションの内容を整理し、レポートに反映させる。
第13回	発表の総括およびレポート作成の注意点 ※レポート word ファイル提出	事前学習	レポートを作成する。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。また、それらをレポートに反映させる。
第14回	レポートとピアレビュー（1）	事前学習	自分以外のレポートを読み、コメントをする。
		事後学習	ピアレビューのコメントを参考にレポートを修正する。
第15回	レポートとピアレビュー（2） 授業全体の総括および提出物確認	事前学習	自分以外のレポートを読み、コメントをする。
		事後学習	ピアレビューのコメントや総括の内容を参考にレポートを修正する。